



響け！ 私たちの「ふるさと宮野森太鼓」

宮野森小学校は、野蒜小と宮戸小が統合してできた学校です。特色は、

先輩から受け継がれてきた太鼓です。東日本大震災で被災した際は、たく

復興の太鼓

ふるさとを思う気持ちで

宮野森小学校は、野蒜小と宮戸小が統合してできた学校です。特色は、先輩から受け継がれてきた太鼓です。東日本大震災で被災した際は、たく



編集委員 後藤悠喜、高橋優也(6年)、斎藤笑、佐藤優里(5年) 指導教諭 奥田玲女、山田明日香

宮野森小

学校名 東松島市立宮野森小学校
所在地 東松島市野蒜ヶ丘2の1の1
電話 0225(88)3877
校長 村岡 歩
児童 124人



自然とふれ合う

宮野森小のすぐ裏に「復興の森」があります。総合的な学習の時間に出かけたり、自然大好きクラブが活動したりしています。生物がすみやすい環境を用意するエコスタック作りや、バナナを使った特製のエサで虫を捕まえて観察などを行っています。いつでも自然とふれ合える復興の森は1~6年生が楽しく活動できるすてきな場所です。



今回は 将監西小(仙台市) 金成小(栗原市)

仙台白百合学園小

学校名 仙台白百合学園小学校
所在地 仙台市泉区紫山1の2の1
電話 022(777)3777
校長 渡辺 瑞穂
児童 254人



大聖堂の鐘響く

学園の中央には「ロザリオのマリア大聖堂」があり、祈りの集いやミサが行われます。パイプオルガンの音と聖歌の歌声が重なって響くとき、神様がそばにいるような気がします。大聖堂から響く鐘の音も自慢の一つ。三つの鐘には「信仰」「希望」「愛」という名前が付いていて、朝、昼、夕に「カーン、カーン」と時を知らせてくれます。



やさしく教えてくださいの仙台駅前商店街振興組合の方々

仙台白百合学園小学校 興組(昨年までは仙台では、毎年、夏休み前に「ミニ七夕飾り」を作り、仙台駅前商店街振興組合の方々に教えていただき、5・6年生が七夕飾りを和紙で作り、笹竹に飾ります。最後に、全校児童がそれぞれの願いを短冊に書いてつけました。この約60鉢の「ミニ七夕飾り」は仙台駅前に飾られ、仙台七夕まつりに訪れる観光客を迎えます。江戸時代に始まった仙台七夕。受け継がれてきた七夕飾りを6年生が5年生に教えながら、2人1組で作りました。飾りに込められている、物を大切にすることや家族の健康や豊作・豊漁を願う気持ち、昔も今も変わらないと思えました。「飾りを作る人が年々減って、さびしくなってきた仙台駅前がにぎやかになればと思い、皆さん



編集委員 東條心菜、板橋由依、鈴木碧乃、林茉央(6年) 指導教諭 木村悦子

七夕に祈り

飾り作って仙台駅前彩る

にお願いました。東日本大震災後は、一日も早く復興しますようにと祈りを込めて、行っていただきます」と話してくださいました。振興組合理事長の渡辺博之さん。 私たちの手で仙台が元氣になり、少しでも復興のお手伝いのできたことがとてもうれしいです。この伝統をずっと受け継いでいきたいです。